

新型コロナは第8波に突入したのか北海道の新規感染者が全国ワーストの惨状東北も深刻

2022年11月4日日刊ゲンダイ

感染の再拡大の局面に入り、いつ誰が感染してもおかしくない状況だ」——。新型コロナ



北海道の感染状況は全国ワーストだが…（鈴木直道・北海道知事）／（C）共同通信社

の感染再拡大に見舞われている北海道の鈴木直道知事は3日、改めて懸念を表明。4回目のワクチン接種を道民に呼び掛けた。

北海道の感染状況は全国ワースト。先月26日以降、人口10万人あたりの新規感染者数は全国最多に上り、2日の新規感染者数は7895人と、第7波のピーク時に記録した8632人に迫る勢いを見せた。道内最大人口の札幌市は、陽性率82.2%という惨状だ。

気温低下に加え、それに伴う換気の不十分さが感染

再拡大の要因とみられている。同様に東北地方の感染状況も深刻だ。

札幌医大フロンティア研ゲノム医科学のデータによると、人口100万人あたりの新規感染者数（過去7日間の増加）は2日時点で、上位7地域に北海道（6897.4人）のほか、山形（5995.3人）、秋田（4594.7人）、福島（3852.6人）、宮城（3759人）、岩手（3711人）の東北5県が入っている

北海道や東北地方は第8波に突入したのか。昭和大医学部客員教授の二木芳人氏（臨床感染症学）がこう言う。

「日本に先行してヨーロッパでは10月から感染者が急増しましたが、ドイツやフランスは比較的落ち着いてきています。新たな変異ウイルスが主流となって猛威を振るっているわけではないので、恐らく、前の波のリバウンドでしょう。北海道や東北も同じ状況ではないか。BA.5系統が依然として主流であるため、第8波に突入したというよりは、第7波のリバウンドである可能性が高い。問題はヨーロッパのように感染者数がピークを迎えた後、日本でも下がりきるかどうかです」

北海道の感染再拡大はある種、先行指標だ。全国に先駆けて、インフルエンザなどの感染症が流行する傾向にある。

「北海道ではやり始めたら、2〜3週間遅れて首都圏でも患者が増えるのが、ほぼお決まりのパターン。コロナも同じです。マスク着用に関するルールが議論されていますが、せめて屋内ではマスク着用を徹底するべきだと思います」（二木芳人氏）

感染者が増えれば医療逼迫の恐れが生じる。いくら“コロナ慣れ”したとしても、感染には要注意だ。